

令和2年度

生徒指導上の諸課題の状況について

令和3年10月

義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・総務学事課

1 令和2年度における諸課題の状況の概要（国公立）

暴力行為の発生件数	420件（前年度 438件）	*	-18	（4.1%減）
いじめの認知件数	3,031件（前年度 3,190件）	*	-159	（5.0%減）
不登校児童生徒数	1,496人（前年度 1,477人）	*	+19	（1.3%増）
中途退学者数	219人（前年度 272人）	*	-53	（19.5%減）

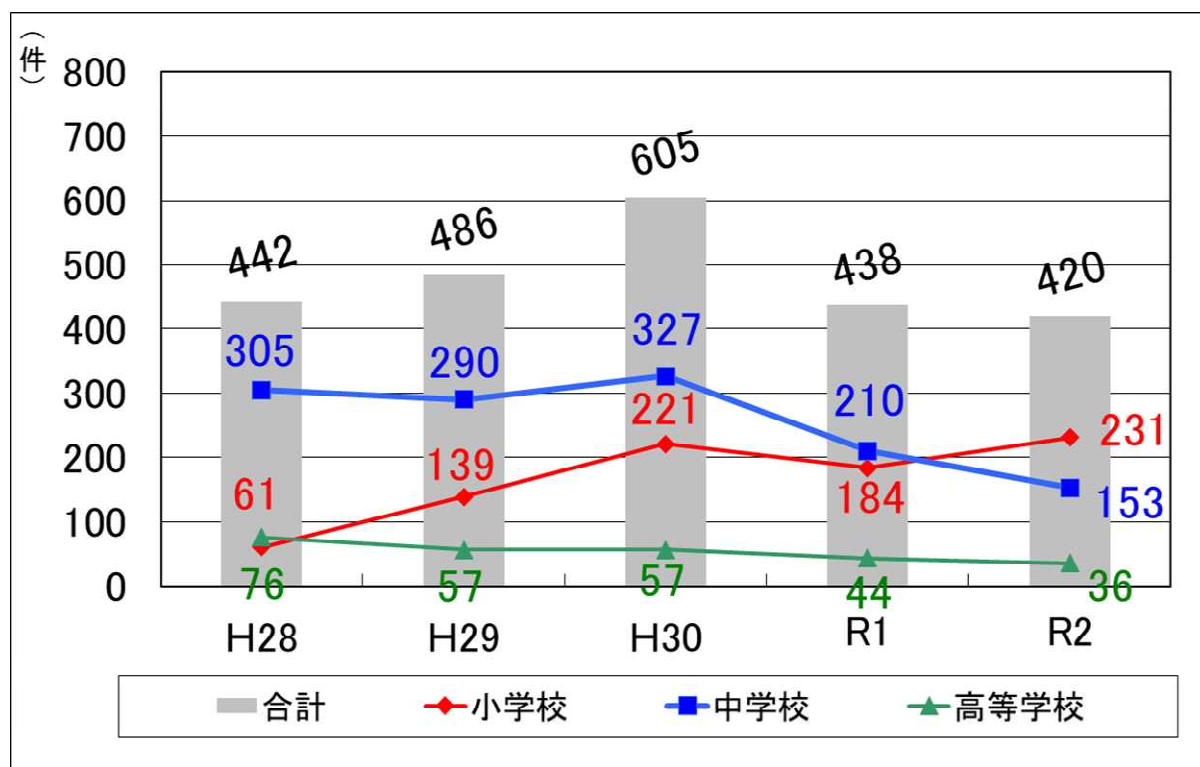
2 暴力行為

＜表1＞ 暴力行為発生件数の前年度比較

年度	小学校		中学校		高等学校		計	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
発生件数	184件	231件 (47)	210件	153件 (▲57)	44件	36件 (▲8)	438件	420件 (▲18)

※（ ）内の数は、令和元年度と比較した増減数を表す。なお、▲は減少を表す。

＜グラフ1＞ 暴力行為発生件数の推移



※ 平成26年度以前は、都道府県別に校種別の発生件数を公表されていない。

※ 暴力行為については、平成27年度に、対象となる行為等の程度が広がり、「激高して教師の足を蹴った」などの文部科学省が示す例と「同等」のものも含むといった変更があった。

国公立小、中、高等学校における暴力行為の発生件数は420件で、前年度の438件より18件(4.1%)減少している。各校種別にみると、前年度と比べ、小学校では47件増加、中学校では57件減少、高等学校では8件減少している。1,000人当たりの発生件数は、小学校が4.6件(全国6.5件)、中学校が6.0件(全国6.6件)、高等学校が1.4件(全国1.2件)、合計が4.1件(全国5.1件)となっている。

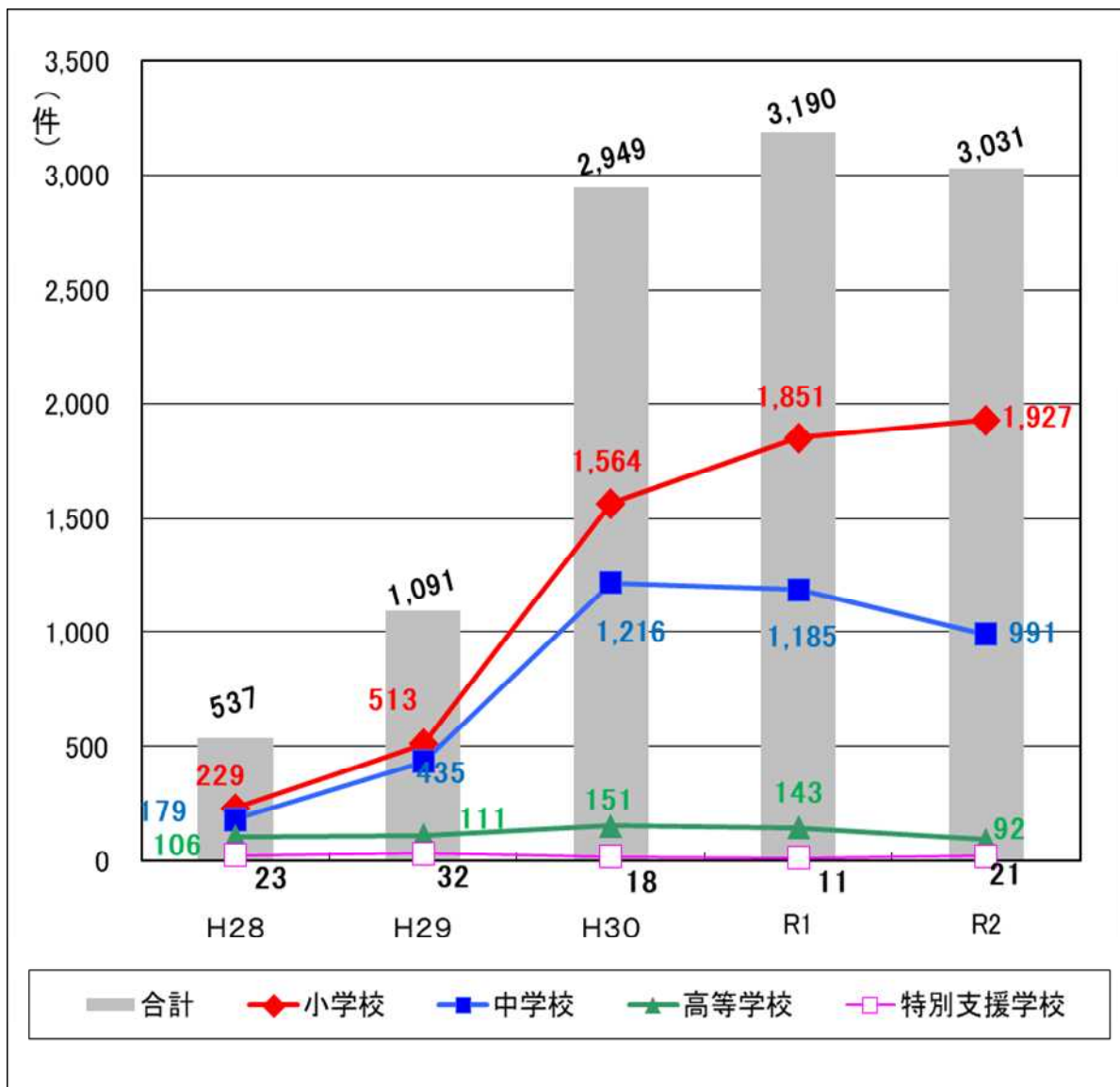
3 いじめ

＜表2＞ いじめ認知件数の前年度比較

年度	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
認知件数	1,851件	1,927件 (76)	1,185件	991件 (▲194)	143件	92件 (▲51)	11件	21件 (10)	3,190件	3,031件 (▲159)

※ () 内の数は、令和元年度と比較した増減数を表す。なお、▲は減少を表す。

＜グラフ2＞ いじめ認知件数の推移



国公立小、中、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数は3,031件で、前年度より159件(5.0%)減少している。各校種別にみると、前年度と比べ、小学校で76件増加、中学校で194件減少、高等学校で51件減少、特別支援学校で10件増加となっている。1,000人当たりの認知件数は、29.5件(全国39.7件)となっている。

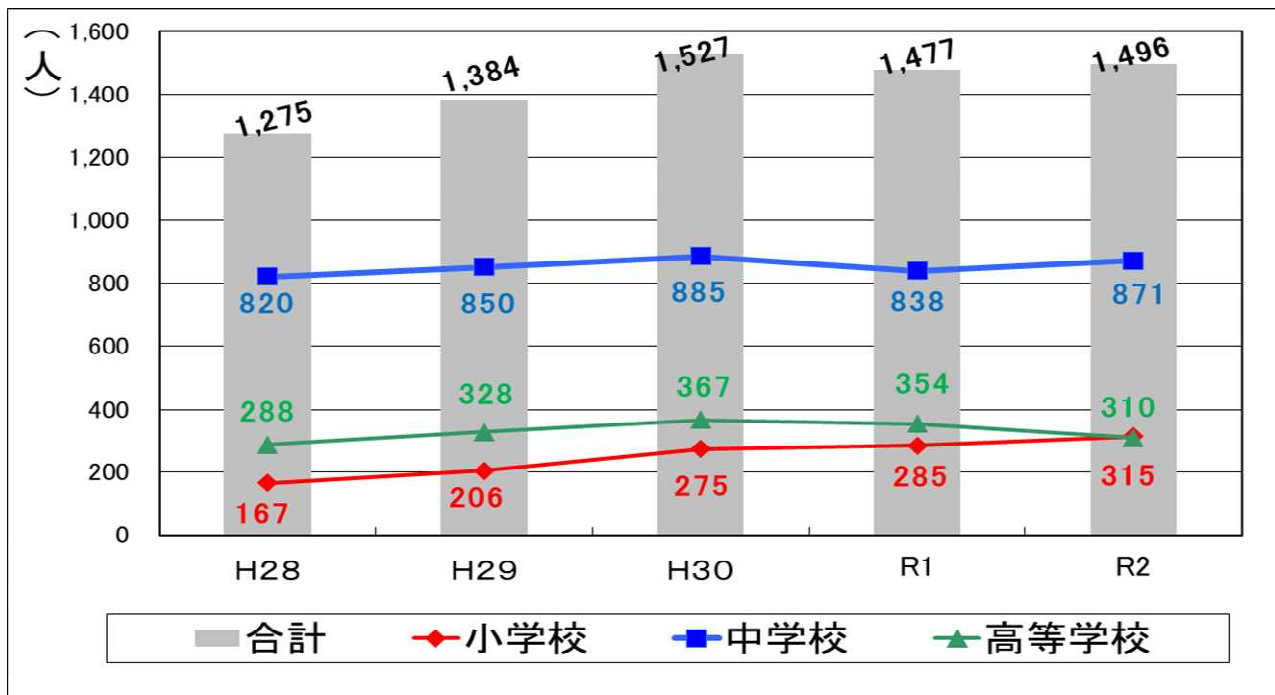
4 不登校

<表3> 不登校児童生徒数の前年度比較

年度	小学校		中学校		高等学校		計	
	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
不登校児童生徒数	285人	315人 (30)	838人	871人 (33)	354人	310人 (▲44)	1,477人	1,496人 (19)

※ ()内の数は、令和元年度と比較した増減数を表す。なお、▲は減少を表す。

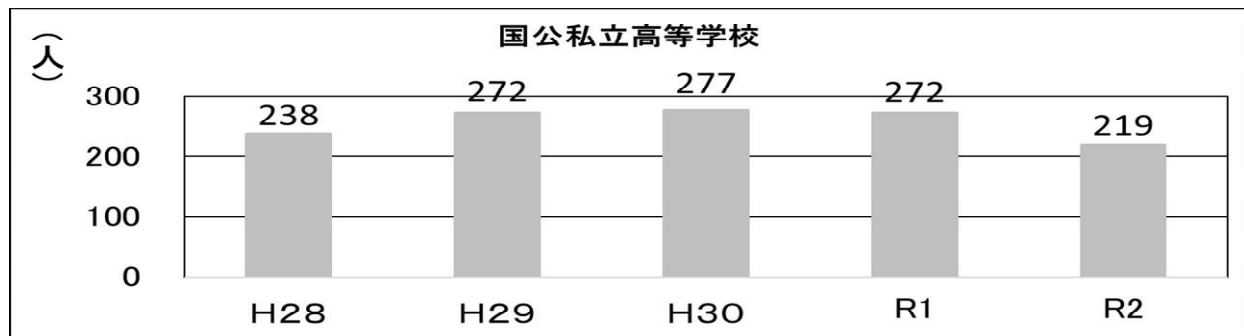
<グラフ3 不登校児童生徒数の推移>



国公立小、中、高等学校において、年間30日以上欠席した不登校児童生徒数は、1,496人で、前年度より19人(1.3%)増加しており、各校種別にみると、小学校では30人増加、中学校で33人増加、高等学校で44人減少している。1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が6.3人(全国10.0人)、中学校が34.1人(全国40.9人)、高等学校が12.3人(全国13.9人)となっている。

5 高等学校中途退学

<グラフ4> 中途退学者数の推移



国公立高等学校における中途退学者数は、219人で、令和2年度の272人より53人減少した。中途退学率(中途退学者の在籍者数に占める割合)は、0.8%(全国1.1%)である。

2021年度 生徒指導上の諸課題の未然防止等に向けた事業体系



「いじめゼロ子どもサミット」開催スケジュール



◎セミナー、サミットに参加した児童・生徒を中心に、各学校で、毎年11月を「いじめゼロ強調月間」として活動。